

じょうほう うみ なか およ い
情報の海の中で泳いで生きていくために

「読み取るチカラ」を

あなたは「読み取るチカラ」があったら何を読み取りたいですか。何を^{なに}知^しって何を^{なに}理^り解^{かい}したいですか。

ともだち かんが
友達の考^{かんが}えていること。おや せんせい おとな
親や先生、大人たちの考^{かんが}えていること。ゲームの^{たいせんあいて}対^{たい}戦^{せん}相^{あいて}手^ての^{つぎ}次^{せんとうたいせい}の^{せい}戦^{せん}闘^{とう}態^{たい}勢^{せい}、テストや
きょうか しょ ほん か
教科書、本に書^かかれていること。マンガ、^{しんぶん}新聞^{ざっし}や雑誌、
テレビやラジオ、^{おんがく}音楽^{じょうほう}、SNS からの^{じょうほう}情報^{……}。

まいにち せいかつ なか
毎^{まいにち}日^{せいかつ}の^{なか}生^{せいかつ}活^{なか}の中^{なか}には、あ^{じょうほう}ら^とゆ^かる^か情^か報^かが^か飛^かび^か交^かっ^てい^まま
す。情^{じょうほう}報^{じょうほう}があ^{うみ}ふ^{なか}れる^{まいにち}海^{まいにち}の中^{およ}で、毎^{およ}日^{およ}あ^{およ}なた^{およ}は^{およ}泳^{およ}いで^{およ}い^るる
の^{およ}です。お^{およ}ぼ^{およ}れ^{およ}そ^{およ}う^{およ}に^{およ}な^{およ}る^{およ}こ^{およ}と^{およ}は^{およ}あ^{およ}り^{およ}ま^{およ}せ^{およ}ん^{およ}か^{およ}。

じょうほう うみ なか
情^{じょうほう}報^{じょうほう}の^{うみ}海^{なか}の中^{なか}で^{なか}お^{じょうほう}ぼ^{じょうほう}れ^{じょうほう}な^{じょうほう}い^{じょうほう}た^{じょうほう}め^{じょうほう}に^{じょうほう}は、情^{じょうほう}報^{じょうほう}を^{じょうほう}あ^{じょうほう}なた^{じょうほう}が
ど^うう^と受^{かんが}け^{だい}取^{だい}る^じか、ど^うう^か考^かえ^かて^かい^かく^かが^か大^{だい}事^じに^じな^じり^じま^じす。
こ^んな^だと^だき^だに^だ役^{ひつよう}立^{ひつよう}ち^{ひつよう}、必^{ほん}要^{しめ}な^{しめ}の^{しめ}が^{しめ}こ^んの^{しめ}本^{しめ}で^{しめ}示^{しめ}して^{しめ}い^るる
「^よ読^とみ^と取^とる^とチ^とカ^とラ^と」^なの^なで^なす。

この本に登場する子どもたちは、どんな場面で、どんな「読み取るチカラ」を、どのように発揮しているでしょう。きっとヒントになることがたくさんあるはずです。

「そうそう、こんなことがあるねえ。」

「ぼくだったら、そうは考えないな。」

「なるほど、そうすればいいんだ。」

共感したり、納得したり、心配したり、驚いたり、喜んだり、はらはらしたり……。自分だったらどうするか考えたり……。

そう、この子どもたちはあなた自身です。あなたの代わりに「読み取るチカラ」を手に入れているのです。読み終えたらあなたも情報の海の中をこれからはすいすい泳いでいけることでしょう。

2022年6月

うづき けいこ
卯月 啓子

じょうほう うみ なか およ い
情報の海の中で泳いで生きていくために
「読み取るチカラ」を _____ 4

なか よ にんぐみ
仲良し4人組とケイコさん _____ 8

だい しょう
第1章 こんなところで「読み取るチカラ」

1 ラスコ^{へき}ー壁画^がのナゾ _____ 12
 <図工>想像する力——内容・時代・場所——

2 『タンポポ』の紙芝居^{かみしばい}作り _____ 22
 <国語・説明文>説明を理解する力
 ——見出し・接続語・時間の経過・イメージ化——

3 おいしい梅^{うめ}ジュース！ _____ 34
 <算数>比を読む力——全体・部分・数直線——

4 豆苗^{とうみょう}をうまく育て^{そだ}るには？ _____ 46
 <理科>比べる力——同じところ・ちがうところ——

5 お土産^{みやげ}からわかること _____ 56
 <社会>つなげて考える力——気候・土地・特産物——

6 ステンドグラスを作ろう！ _____ 68
<算数・図形> 道具を使う力——長さ・角と角度——

7 とっても便利な懐中電灯！ _____ 78
<理科> 比べて確かめる力——実験結果・理由——

8 『雪わたり』 _____ 88
<国語・物語> 想像する力
——広さ・大きさ・色・動き——

9 聖徳太子ってどんな人？ _____ 98
<社会> つなげて考える力——人物・時代・出来事——

第2章 「読み取るチカラ」は生きる力！

あま ことば ようじん
甘い言葉にご用心！ _____ 110

かいけつ
解決しよう！ _____ 113

よ と
読み取るチカラをみがこう！ _____ 114

よ と
読み取るチカラとは _____ 115

かつよう ちから
活用する力 _____ 120

なかよ ^{にんぐみ} 仲良し4人組とケイコさん

ほうかご ^{がくしゅうきょうしつ} ^{がっこう} ^お ^こ
放課後の学習教室。学校が終わると、子どもたち^{あつ}が集まってきます。

「ケイコさん、こんにちは。今日は、^{きょう}おもしろいもの^もを持って来たんだー。^み見て、^み見て！」

^{いちばんの}一番乗りでやってきたのは、^{どくしょ} ^{だいす}サキ。読書が大好きで、いつもいろいろな^{ほん} ^よ本を読んでいます。

「ほら、これ^み見て。なんだか人間^{にんげん}みたい^おに追いかけて^{こえ}こしてるでしょう。このカエルなんて、声^{こえ}が聞^きこえ^{ふる}え^えそうだよ。日本の古い絵^えなんだって。」



「ああ、これは鳥獣人物戯画の一部ね。日本の古い絵巻物。人間のように描かれている生き物の動きや表情がユニークで面白いのよね。」

サキが出した絵を見て、ケイコさんが教えてくれました。ケイコさんは、学習教室でみんなの勉強のサポートをしてくれるお姉さんです。

そこにユイトがやってきました。ユイトは仲良く4人組のまとめ役。考えることが得意です。

「へえ、なんだかマンガみたいだねえ。」

「そうなの。これはマンガの原点とも言われているの。この絵を見て、どんなことが読み取れる？」



ケイコさん

こまごま困りごとを気軽に相談できるお姉さん。



サキ

どくしょが好き。自由に想像することが得意。



ユイト

しっかり者。あきらめずにじっくり考える。

ちょうどケ
イコさんがそ
う言ったとき
に、モトヤと
リョウもやっ
てきました。



モトヤ

げんき うんどう とくい
元気で運動が得意。
はんだん はや
判断するのが早い。



リョウ

きょうみ
興味をもったら
うご こうどう は
すぐに動く行動派。

いつもの仲良し4人組が勢ぞろいです。

「きっとこれはサルが何か悪さをしたんだね。」

いつもぱっと考えて動くモトヤがすぐに答える
と、リョウが続けます。

「ウサギはおこっているように見えるけど、カエルはそうでもなさそうだよ。」

「リョウは比べて考えるのが得意だねえ。そんな
ふうによく見て考えることが大事。その『読み取る
チカラ』をしっかりとみがいていかないとね！」

ケイコさんに言われて、みんな「ふーん」とい
う表情です。さて、どうみがいていくのでしょうか？

4

とうみょう 豆苗をうまく育てるには？

＜理科＞ くら ちから おなじところ・ちがうところ

がくしゅうきょうしつ
学習教室に、みんながやってくると、ちょうど
ケイコさんが、か ものぶくろ なに だ
買い物袋から何かを出しています。

「ケイコさん、こんにちは！ あれ、それ何？」

リョウがめざとくみを見つけました。

「これは、とうみょう 豆苗とって、グリーンピースのわか
は 葉っぱよ。サラダやいため物ものにするとおいしいの。

やす
安かったから、3つもか買っちゃった。」

ケイコさんがみ見せてくれたのは、ビニールにつつ
まれてびっしりしげった、みどり は
緑の葉っぱでした。

「た
食べら
れるの？」

モトヤ
がめ
が目をか
がやか
せ
ました。



しばらくたったある日。4人が学習教室にやっ

てきました。サキとユイトもいっしょです。

「サキ、ユイト、豆苗はうまく育った？」

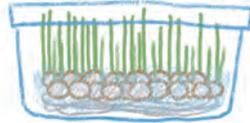
「よく育ったよ。晩ご飯で食べたんだ。」

ユイトは笑顔で観察日記を差し递しました。

〈ユイトの観察日記〉

○月×日

とうみょうの根をトレーに移して、キッチンなどの近くにおいた。豆にかからないくらい水をやる。

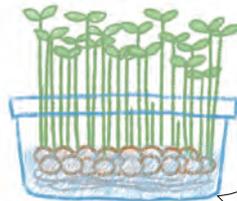


○月△日

水は毎日とりかえているので、今日もとりかえた。少し芽がのびてきた。

○月□日

とうみょうがだいぶ育ったので、しゅうかくして、ばんご飯の野菜いためにに入れてもらった。おいしかった。



いっぽう ^{ざんねん} 一方サキは残念そうに言いました。

「あんまりうまく育たなかったんだ……。」

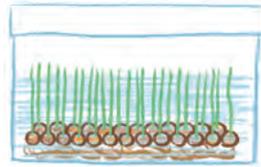
「あらまあ……。どうしてかな？ ^{かんさつにつき} ^み 観察日記を見せてくれる？」

ケイコさんはそう言って、ユイトとサキの ^{かんさつ} 観察日記を並べました。

〈サキの ^{かんさつにつき} 観察日記〉

○月×日

とうみょうの根を深めの入れ物に入れて、水をたっぷりやる。

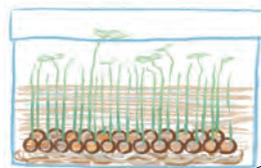


○月△日

水はいつもたっぷりあるようにしている。
へってきたら、水をあげている。
少し出てきた芽もある。

○月□日

のびてきた芽は少なくて、白くて、ひよろひよろしている。
水は茶色くにごっている。



みんなも二人の^{ふたり}観察日記^{かんさつにっき}をのぞきこみます。

「サキも^{すこ}少しは、^{めで}芽が出たんだね。どうして^{しっばい}失敗

したのかなあ。」

「^{とちゅう}途中まではよかったのかな。」

するとケイコさんが^{こえ}声をかけました。

「^{せいこう}成功したユイトの^{きろく}記録と^{くら}比べて、どこかちがう

ところはあるかな？」

^よ読み^{くら}比べてリョウが^い言います。

「^い入れ物^{もの}がちがうね。ユイトは^{あさ}浅い^い入れ物^{もの}に入れたけど、サキは^{ふか}深い^い入れ物^{もの}に入れている。」

「でも、^{ほか}他はそんなにちがわないみたい。」

ユイトが^い言ったので、ケイコさんが^{こんど}今度は、

「じゃあ、^{おな}同じところはどんなところ？」

とたずねました。^{かんさつにっき}観察日記を^よ読み^{くら}比べていたモトヤが^{こた}答えます。

「二人とも、^{みず}水やりをしているところは^{おな}同じだよ。

^{しよくぶつ}植物を^{そだ}育てるには^{みず}水やりが^{たいせつ}大切だよね。そういえ

は、^{まえ}前にアサガオを^{そだ}育てたとき、^{みず}うっかり水やり
^{わす}を忘れて、アサガオがしおれちゃったことがある
 んだ。」



◎^{かんが}キミも考えよう！

ユイトとサキの^{かんさつにつ}観察日記を^よ読み^{くら}比べてみよう。

ど^{おな}んなところが同じで、ど^{おな}んなところがちがうかな？